

レバー 空錠・内締錠・表示錠 取付説明書

施工前にこの取付説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されますようお願い致します。

⚠注意 この表示は誤ると「傷を負うか、又は物的損害の可能性が想定される」内容です。



禁止

- ※本製品は一般住宅室内専用(浴室を除く)ですので、玄関等の屋外や多数の方々がご利用する商業施設などでは使用しないでください。
- ※電動ドライバーは使用しないでください。各取付ネジは製品の変形・破損、扉の変形に注意し、作動不良が無いようにしっかり締め付けてください。
- ※本製品は分解、改造をしないでください。
- ※円筒錠からの交換は不可です。



株式会社 **川口技研**

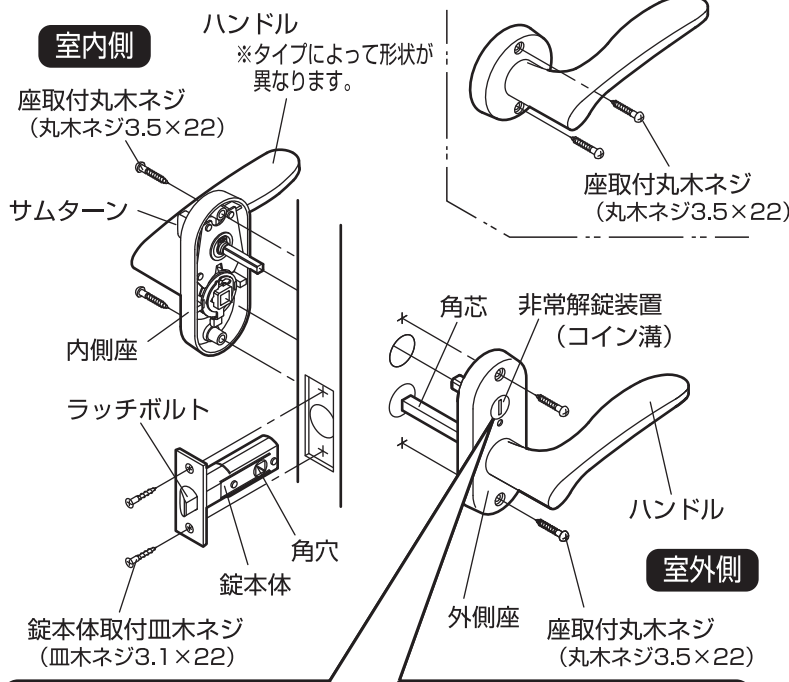
〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048-255-5411
FAX 048-255-8228
<https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

**一般住宅
室内専用**
(浴室は使用不可)

使用可能扉厚 29~45mm

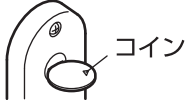
内締錠・表示錠の場合

空錠の場合



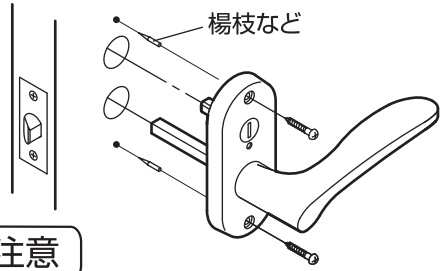
非常時の解錠方法

室内で施錠された扉を室外側から解錠する場合は、コイン溝にコイン等を差し込み回転させて解錠します。



交換の場合のお願い

木ネジ穴が大きくなっている場合があります。木ネジ穴に楊枝などを詰めて、木ネジがよく効くようにしてください。



⚠注意

ハンドル、座を交換するときには、錠本体も必ず交換してください。

ハンドルの向きを変える方法

～小判座の場合～

1. 「ハンドル付け替え金具」を図1の要領で外して、回転バネも外します。
2. 内外のハンドルを入れ替えます。
3. 回転バネを取り付けて、「ハンドル付け替え金具」を図2の要領で取り付けてください。

ハンドル付け替え金具

凸部が上になるようにします

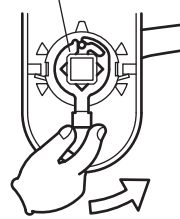


図1 外し方

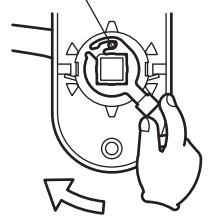
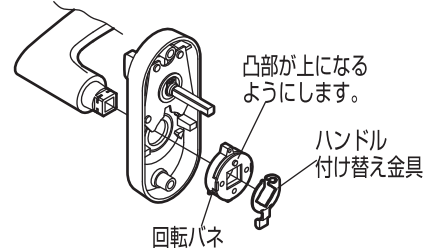


図2 取り付け方

ハンドルの分解図



取付方法

1. 裏面の取付型紙に従って、扉に加工をしてください。
2. ラッチボルトの向きを扉の開閉する向きに合わせてから、錠本体を扉に差し込み、錠本体取付皿木ネジで締め付けてください。
3. 外側座のハンドル角穴に角芯を差し込み、コイン溝を縦にして扉に差し込みます。
4. 内側座のサムターンも縦にしてから、扉に差し込みます。
5. 外側座と内側座の芯出しのために、両側のハンドル、サムターンと非常解錠装置を動かし、スムーズに動く所で座取付丸木ネジで座を固定します。芯出しをせずに固定すると、ハンドル、サムターンと非常解錠装置の動きが悪くなる場合があります。ハンドルの左右の向きが逆になってしまう場合は、ハンドルの向きを変える方法をご覧ください。空錠も同様に取り付けてください。
6. 裏面を参考にして、ストライクをラッチボルトの位置に合わせて、取り付けてください。
7. 表面に油分・汚れがある場合は、柔らかい布で拭いてください。

⚠注意 取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認してください。

取付型紙



・必ず指定寸法で加工してください。

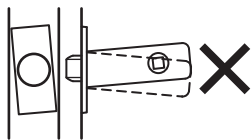
・取付型紙をコピーして使用する場合は、原寸大であることを必ず確認してください。

・扉表面の穴①を先に、横手面からの穴②を後に加工してください。

使用可能扉厚
29~45mm

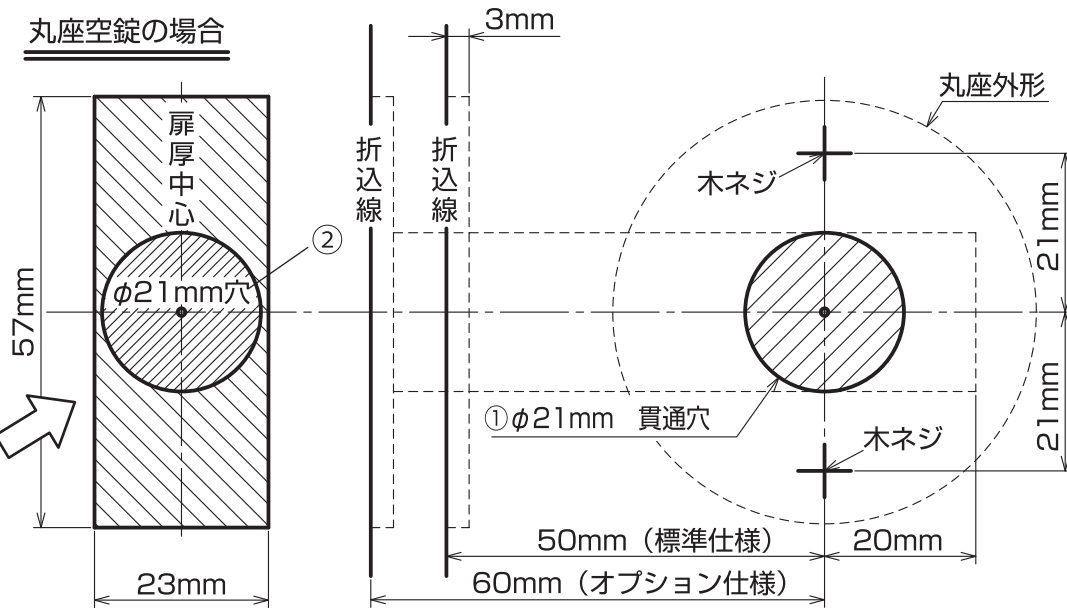
注意

・錠本体の入る丸穴(φ21mm)が、指定した丸穴でない場合、錠本体に負担がかかりやすく、錠本体が破損することがあります。必ず、φ21mmの丸穴を真っ直ぐに加工してください。



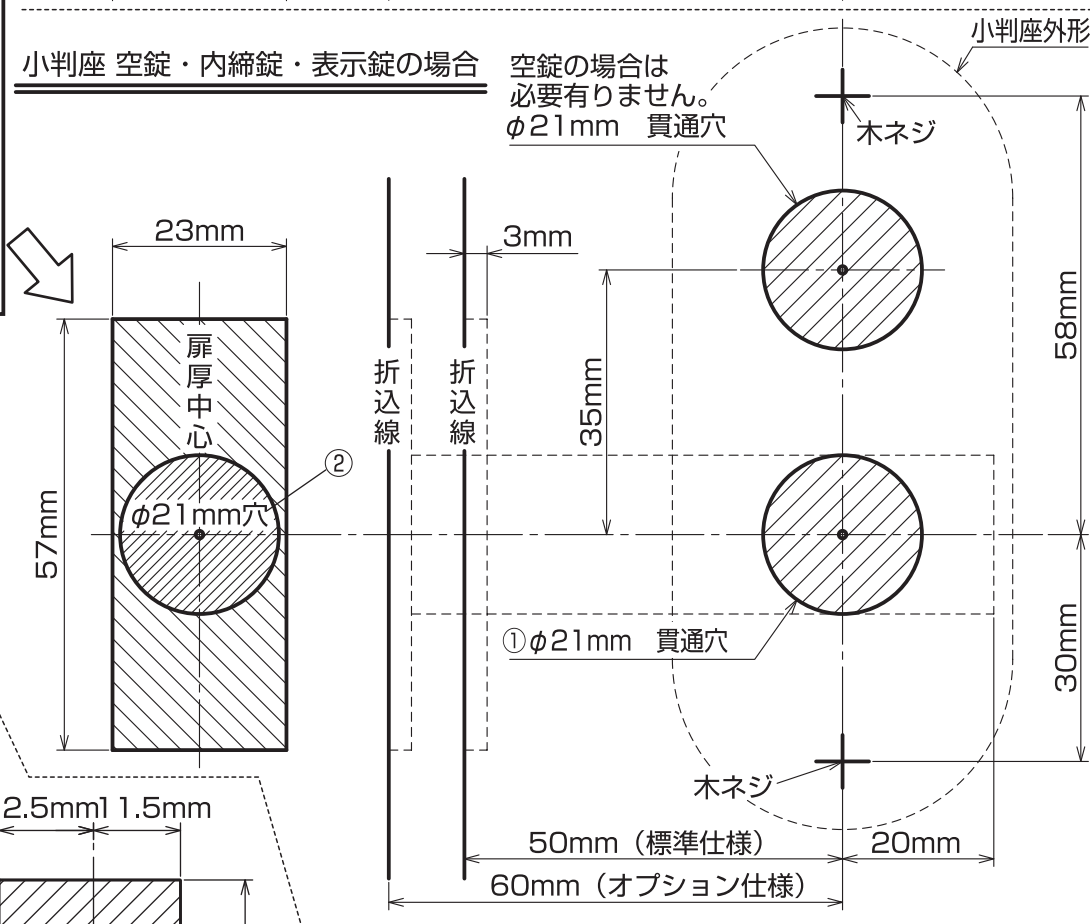
・錠本体を扉に取り付ける時、フロント部をハンマー等で叩かないでください。錠本体が破損することがあります。

丸座空錠の場合

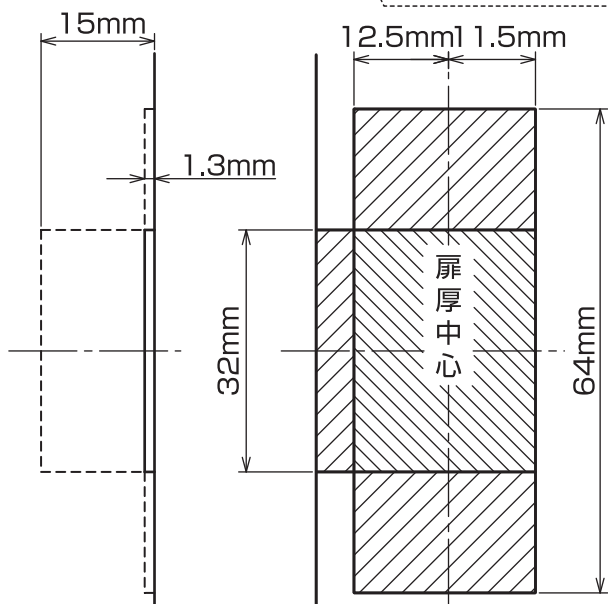


小判座 空錠・内締錠・表示錠の場合

空錠の場合は必要ありません。
φ21mm 貫通穴



ストライク 取付型紙



・必ず指定寸法で加工してください。

取付方法

1. 取付型紙に従って、枠に加工をしてください。
2. 取付皿木ネジで固定してください。

